

SC 番号 : SC34 規格番号 : ISO/IEC FCD 13250-5 投票期限 : 2008-09-19	投票に付した文書番号 : SC34 N1043
規格名称 [英文] Information technology -- Topic Maps -- Part 5: Reference Model	
規格名称 [和文] 情報技術 – トピックマップ -- Part 5: 参照モデル	
規格案の概要 [FPDAM の場合 : Amd.される規格の概要についても記載すること] トピックマップ参照モデルは、ISO/IEC 13250-2 データモデルより少ないオントロジ上の公約に基づきトピックマップの抽象モデル、サブジェクトマップを定義し、他の知識表現モデルとのマッピングも容易にする。 サブジェクトマップはプロキシの集合で、プロキシは複数のプロパティから構成される。各プロパティは、キーと値の1対で表現される。 トピックマップ参照モデルは、サブジェクトマップの最小限のアクセス、検索機能、併合規則、制約も定義し、ISO/IEC 18048 トピックマップ問合せ言語(TMQL) および ISO/IEC 19756 トピックマップ制約言語(TMCL) の形式的な基礎をも提供する。	
回答案 [該当する項目に を記入すること] () 賛成 () 反対* () 条件付き反対* () 棄権 コメント () なし () あり [回答案が*の場合は必須]	
回答案の理由 これまでの投票における日本からのコメントも反映され、内容も十分審議され成熟したと考えられる。 コメントの主旨 [コメントがある場合] 単純な編集上の指摘。	
英文コメント [大部になる場合は別紙として添付すること] 1. Clause 3 Subjects '[...}' should be removed. 2. In the 5th and 6th paragraph of clause 7 Merging The same symbol "m >< " as in expression (12) should be used. 3. The third symbol of Annex B The third ASCII Equivalent should be "m >< ".	
JISへの対応 [該当する項目に を記入すること] 1. 対応する JIS がない場合 JIS を制定する 必要がある () 必要はない () その他 () (理由) 注: JIS 化作業の人的リソースの確保が必要である。 2. 対応する JIS がある場合 (JIS 番号 _____) JIS を改正し国際規格と整合させる必要がある () JIS を改正する必要はない () (理由)	
回答案作成者 (又は回答案責任者) の氏名、所属 氏名: 小町 祐史 所属: 大阪工業大学 情報科学部	

情報電子標準化推進室使用欄

審議団体等の名称等：(社)情報処理学会 情報規格調査会 会長 石崎 俊

室長	補佐	担当	起案日
			回答依頼日